

1 9)「+」「-」「・・・」「- (ハイフン)」などの記号は、誤読を防ぐために前後の文字との間隔をあけるなど、その間隔に注意する。

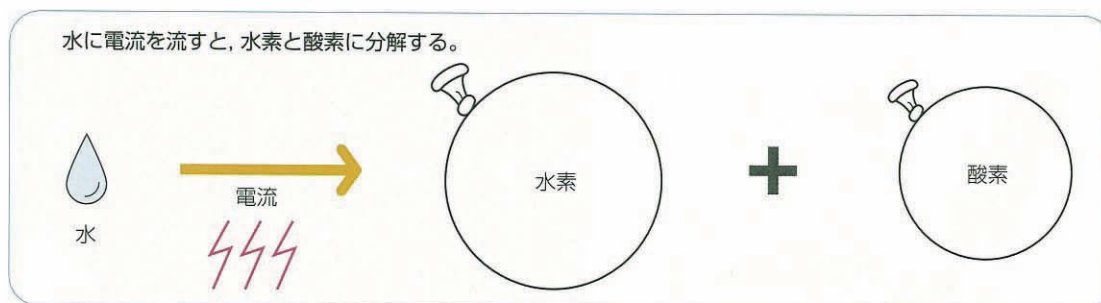
8

4 化学変化と原子・分子

※1 電流を長い時間流し続けると、しだいに水は減っていくが、水酸化ナトリウムは少しも減っていないことが確かめられている。

実験2のようにして、水に電流を流すと、一極側、+極側のどちらからも気体が発生する。一極側から発生した気体は、水素であり、+極側から発生した気体は、酸素である。このことから、電気分解によって水が水素と酸素に分解されることがわかる。^{※1}

5



水のほかに、塩化銅水溶液なども電気分解を行うこと

中学理科 1 分野下 (教育出版) P.8

赤枠内の「-」「+」について、前後の文字との間を空けるようにしています。

8-1

4 化学変化と原子・分子

実験2のようにして、水に電流を流すと、一極側、+極側のどちらからも気体が発生する。一極側から発生した気体は、水素であり、+極側から発生した気体は、酸素である。このことから、電気分解によって水が水素と酸素に分解されることがわかる。^{※1}

※1 電流を長い時間流し続けると、しだいに水は減